

第23回ウーン・シティマラソン

ウーン市民とのスポーツ交流 報告書

NPO 法人・ぎふ長良川走ろう会

マイドリング区 表敬訪問 : 2006年5月5日



マイドリング区 ヴォタワ区長とぎふ長良川走ろう会高橋理事長

第23回ウーンマラソン参加 : 2006年5月7日

- ・三品 一春
- ・陸田 敏弘
- ・上松 裕典
- ・野村 賢司
- ・渡邊 正明
- ・高橋 睦
- ・西脇 良夫
- ・西脇 紀子
- ・國府 靖
- ・武藤 彰



ウーン市 12 区、マイドリング区を表敬訪問

平成 18 年 5 月 5 日、岐阜市と姉妹都市提携を結ぶウーン市 12 区マイドリング区市民と第 23 回ウーンマラソンを通じて国際交流を深めるため、マイドリング区を表敬訪問しました。

岐阜市の嘱託職員であるウーン在住のエベリン ラクナーさんの案内で区役所を訪問、ガブリエレ ヴォタワ区長をはじめ、区長室長など多くの方々のご歓迎を受けました。

席上、NPO 法人・ぎふ長良川走ろう会高橋理事長は、細江岐阜市長から預かってきた区長宛のメッセージやお土産を渡し、意義ある交流を深め、また記念撮影など楽しいひとときを過ごしました。



高橋理事長 区長室長 ヴォタワ区長 エベリンさん



参加者全員で記念撮影

老人専用アパートヘッツェンドルフを訪問

引き続き、老人専用アパートヘッツェンドルフに移動し、昼食中の住民たちに紹介され親しく交流しました。

ここの住民の方の平均年齢は 85 歳、101 歳の方もおられるそうで、入居のための待ち時間は一人用の部屋が 6 年、二人用の部屋が 12 年となっているほど人気が高い公共老人専用アパートです。327 人の入居者と 97 名のスタッフがいます。

73 歳の西脇さんはトライアスロンやフルマラソン、ウルトラマラソンを走っていると紹介されると会場からは驚きの声があがりました。また、野村さんは得意のハーモニカで九ちゃんの上を向いて歩こうなどを披露され、拍手喝采を受けました。

食堂ではおいしいウーン料理をご馳走になり、入居者たちとは写真を撮ったり、お互い話に花が咲き、楽しいひとときを過ごすことができました。



第22回ウィーンシティマラソン参加

5月7日(日)第23回ウィーンマラソンが行われ、14,600人のランナーが、ゴールを目指して世界遺産の町並みを走り抜けました。レース当日は風も涼しく絶好のコンディションに恵まれ、我々10人はすべて完走という素晴らしい記録を残しました。レースの前には、世界遺産ウィーン市内の観光、バッファウ渓谷の観光などに加え、古き良きウィーン音楽の演奏で名高いサロンオーケストラ「アルト・ウィーン」が、ワルツ王ヨハンシュトラウスとウィーン古典派の代表モーツァルトの名曲、アイネクライネナハトムジークなど名曲の数々を披露、一流の演奏家たちの素晴らしい生演奏を聴きました。また、オペラ歌手やバレエダンサーたちが繰り広げる芸術性の高いオペラやバレエに酔いしれました。

